

経営比較分析表（令和4年度決算）

北海道 八雲町

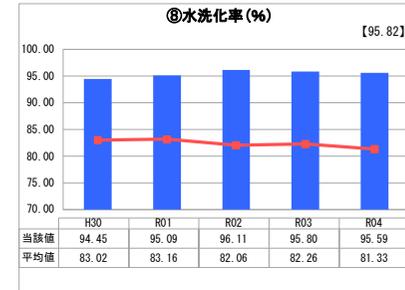
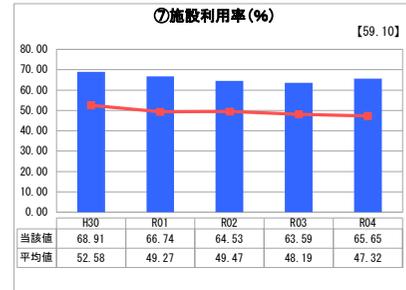
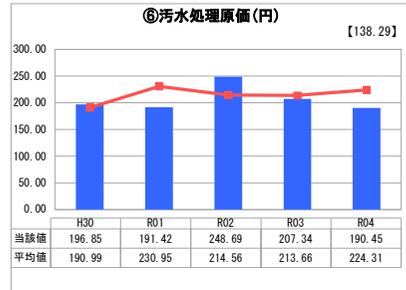
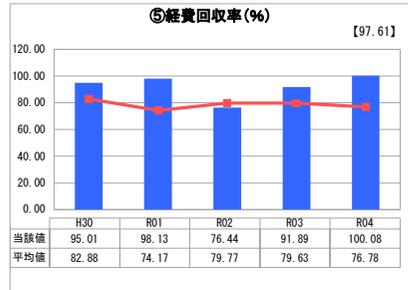
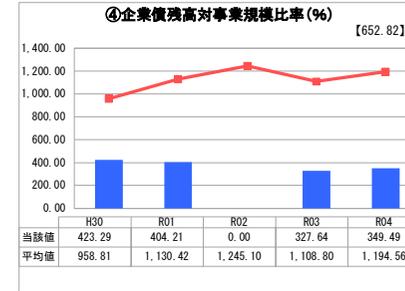
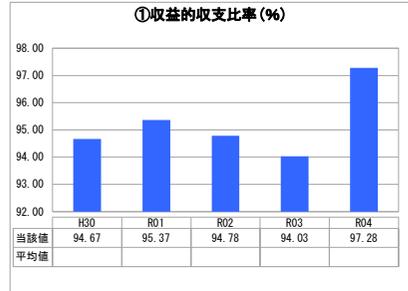
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cd2	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	有収率 (%)	1か月20m ³ 当たり家産料金 (円)
-	該当数値なし	58.91	91.85	3,630

人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
15,050	956.08	15.74
処理区域内人口 (人)	処理区域面積 (km ²)	処理区域内人口密度 (人/km ²)
8,785	3.79	2,317.94

グラフ凡例

- 当該団体会値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
- 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

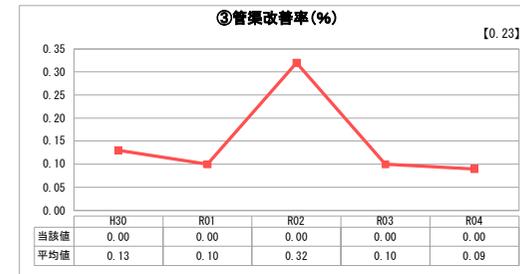
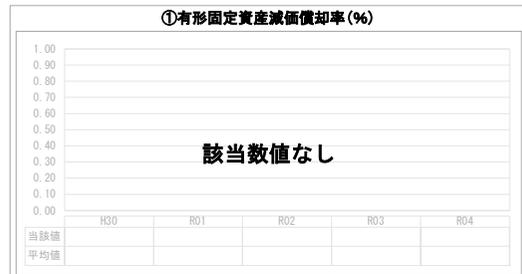
1. 経営の健全性・効率性について

①収益の収支比率については、平成29年度以降も引き続き90%以上を維持しており、概ね健全な経営であるが、更なる収入増とコスト削減が求められる。
 ④企業債残高対事業規模比率については、類似団体平均値を下回っているが、今後は施設の大規模修繕・更新により、多額の起債借入が発生する。ストックマネジメントに基づき、計画的に建設改良事業を進めることで、起債借入額を平準化し、起債残高の抑制に努める。（令和2年度当該値は664.55）
 ⑤経費回収率については、類似団体平均値を上回っており、概ね健全な経営である。
 ⑥汚水処理原価については、令和3年度以降類似団体平均値を下回り、維持管理費削減等の効果が「出たものと思われる」。
 ⑦施設利用率及び⑧水洗化率については、類似団体平均値を上回っており、適切に下水道施設が利用されている。
 以上のことから類似団体と比較すると、概ね健全な経営であるが、使用料改定による収入増と更なる維持管理費等のコスト削減による経営改善や効率性の経営に努めていく必要がある。

2. 老朽化の状況について

供用開始から約27年を経過しているが、管渠については、いまだ耐用年数の50年を経過していないため、現時点では老朽化しているとは言いが切れない。
 しかし、機械・設備については、耐用年数の15年を経過しており、令和元年度から随時更新を始めている。
 今後は施設全体が徐々に老朽化していくことが予想されるため、計画的な更新を検討していく必要がある。また、将来的に人口減少による使用料収入の減、施設老朽化による更新費用の増大など、厳しい経営状況が予想されることから、常に先を見据えた計画的な経営を行っていく必要がある。
 そのため、令和6年4月からの公営企業会計の適用を進めるとともに、合わせて使用料改定について検討する。

2. 老朽化の状況



全体総括

現在は、類似団体と比較して、概ね良好な経営であるが、維持管理費削減等の課題は残る。
 また、将来的に人口減少による使用料収入の減、施設老朽化による更新費用の増大など、厳しい経営状況が予想されることから、常に先を見据えた計画的な経営を行っていく必要がある。
 そのため、令和6年4月からの公営企業会計の適用を進めるとともに、合わせて使用料改定について検討する。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。